

継続

エアロスフィア吸入指導報告書

Ver.20240623改定

患者ID: _____

病院 科 医師

指導を受けた方:

ご本人 ご家族 その他

調剤薬局名:

担当薬剤師名: _____ 先生

指導日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

FAX送信先: 関東労災病院薬剤部

FAX: 044-433-3150 TEL: 044-411-3131

商品名: _____ 用法用量: _____

★の項目が指導後も×の場合は、治療継続不可とします。

		指導前	指導後
準備	カウンターで残量を確認できる。	○・×	○・×
	キャップを外すことができる。	○・×	○・×
	吸入器を5回振り、薬剤と噴霧ガスを均一にすることができる。	○・×	○・×
吸入	吸入前の息吐きができる。	○・×	○・×
	オープンマウス法又はクローズドマウス法で吸入する準備ができる。	○・×	○・×
	★ ボンベを押すと同時にゆっくりと吸い込むことができる。	○・×	○・×
	5秒間の息止めができる。	○・×	○・×
	吸入後の息吐きができる。	○・×	○・×
片付け	キャップを閉める前にマウスピースをふき取る。	○・×	○・×
	使用後はキャップを閉める。	○・×	○・×
うがい	うがいができる。	○・×	○・×
	うがいの必要性を理解している。	○・×	○・×

◆ 使用中または今回使用を追加した補助器具にチェック☑して下さい。

スパーサー 噴霧補助器具 練習用プラセボ吸入用

◆ 症状の評価 (ACT / mMRC ※使用した方に☑して下さい。) 結果 _____

◆ 残薬: _____ 吸入 (使用済みデバイス _____ 個)

◆ 副作用の出現: なし・あり (口渇・頻尿・嘔声・口腔内違和感・その他 _____)

◆ このデバイスを使用した治療は継続可能ですか。 可能・不可

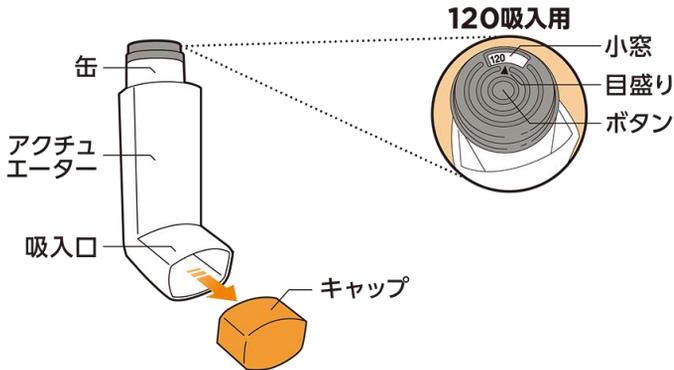
⇒不可理由 (デバイス変更は一覧[H P 参照]から同一用量のデバイスを選択し電話にて疑義照会してください。)

◆ 特記事項

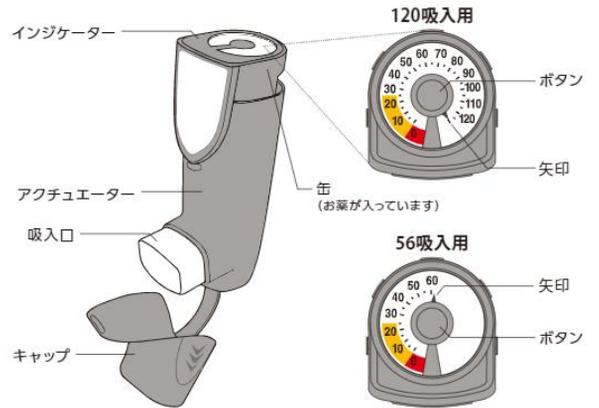
(指導が実施できなかった場合など、トラブルや不備があればそちらも記載して下さい。)

エアロスフィア 各部位の名称

<ビベスピ>



<ビレーズトリ>



エアロスフィアの初回準備方法

空噴霧

- キャップを外します。
- 吸入器を5回振ります。
- 吸入器のポンベを押すと霧状のガスが出ます。



※初回空噴霧

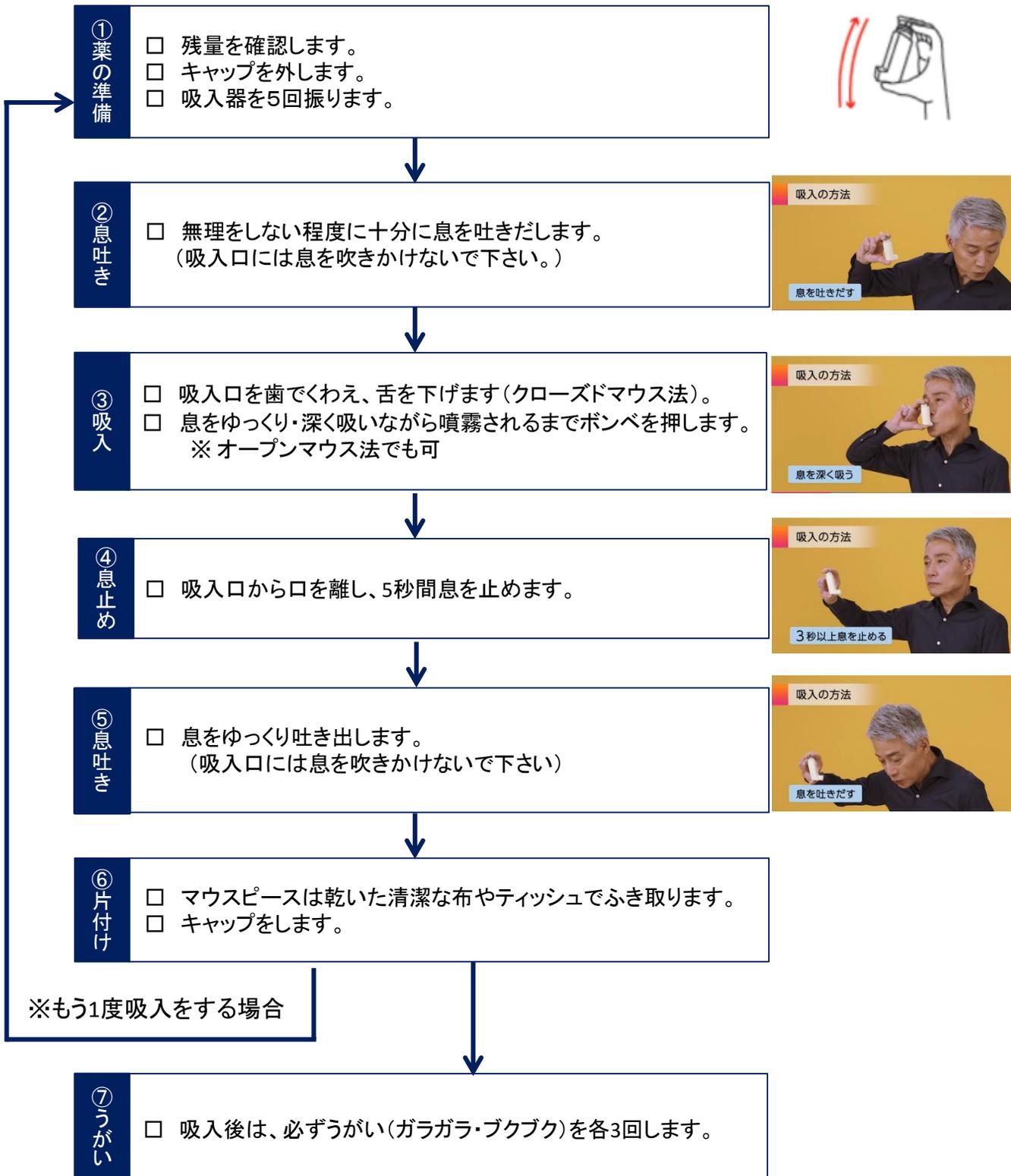
- ・ビベスピは2回行ってください。
- ・ビレーズトリ: 120吸入は2回、56吸入は4回行ってください。

※吸入器洗浄後は2回空噴霧を行ってください。

エアロスフィアの吸入手順(患者さん用)

【薬品名:ビベスピ、ビレーズトリ】

※ 残量が少ないときは早めに新しいものを処方してもらって下さい。

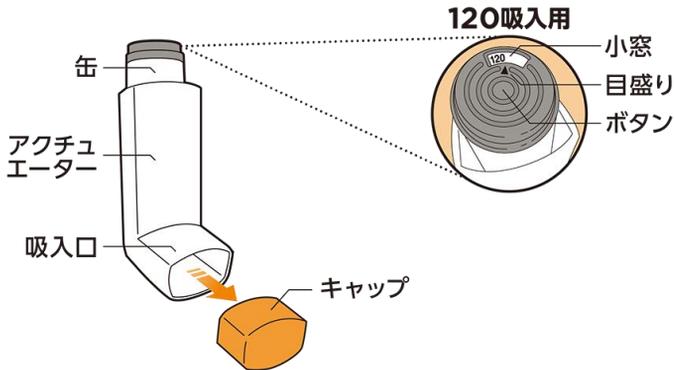


吸入器の洗浄を週1回行って下さい。

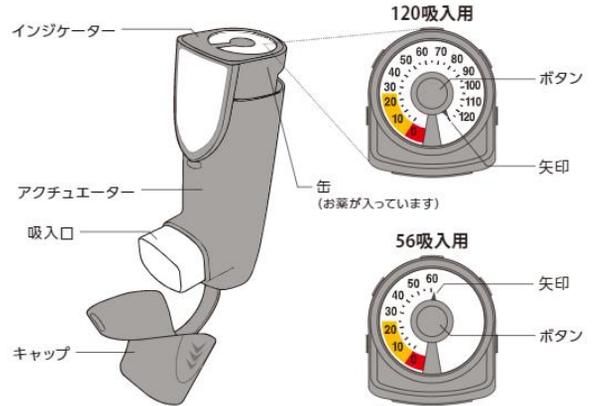
※吸入補助器具「プッシュサポーター」を装着している場合は、取り外して下さい。

エアロスフィア 各部位の名称

<ビベスピ>



<ビレーズトリ>



エアロスフィアの初回準備方法

空噴霧

- キャップを外します。
- 吸入器を5回振ります。
- 吸入器のポンベを押すと霧状のガスが出ます。



※初

初回のみ必要な操作です。
毎行わないように指導します。

・ビレーズトリ: 120吸入は2回、56吸入は4

主薬と噴霧ガスを均一にするため、噴霧前に容器を十分に振る必要があります。患者の混乱を防ぐため、振る必要のない製剤も振ると指導します。

※吸入器洗浄後は2回空噴霧を行ってください。

エアロスフィアの吸入手順(患者さん用)

【薬品名:ビベスピ、ビレーズトリ】

カウンターのないものは、メーカー資材(シール等)を利用して確認します。

※ 残量が少ないときは早めに新しいものを処方してもらってください。

① 薬の準備

- 残量を確認します。
- キャップを外します。
- 吸入器を5回振ります。

主薬と噴霧ガスを均一にするため、噴霧前に容器を十分に振る必要があります。患者の混乱を防ぐため、振る必要のない製剤も振ると指導します。

② 息吐き

- 無理をしない程度に十分に息を吐きだします。(吸入口には息を吹きかけないで下さい。)

息吐きをしないと、吸入がうまくできません。十分に息吐きができていないか確認します。

③ 吸入

- 吸入口を歯でくわえ、舌を下げます(クローズドマウス法)
- 息をゆっくり・深く吸いながら噴霧されるまでボンベを押します。
- ※ オープンマウス法でも可

すでにオープンマウス法で問題なく吸入できている患者は、無理にクローズドマウス法に変更する必要はありません。初めて吸入する患者は、クローズドマウス法で指導します。

息を深く吸う

④ 息止め

- 吸入口から口を離し、5秒間息を止めます。

吸入時「同調ができない」「刺激でむせてしまう」など場合には、スプレーの使用を考慮。医師への照会は必要ありません。報告書に記載して下さい。

⑤ 息吐き

- 息をゆっくり吐き出します。(吸入口には息を吹きかけないで下さい)

肺内への薬剤の沈着率を高めるため息止めが必要です。ただし、無理はさせないこと。

⑥ 片付け

- マウスピースは乾いた清潔な布やティッシュでふき拭きます。
- キャップをします。

キャップをする前に、吸入口を拭くように指導します。

※もう1度吸入をする場合

⑦ うがい

- 吸入後は、必ずうがい(ガラガラ・ブクブク)を各3回行います。

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚙声などの副作用を防止するため吸入後すぐにうがいをします。それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいをを行うように指導します。

吸入器の洗浄を週1回行って下さい。

※吸入補助器具「プッシュサポーター」を装着している場合は、取り外して下さい。